



28日からノボシビルスクで開かれる国際大会に参加する選手たち

ロシア文化学びたい

柔道の中学生6人 派遣へ抱負

28日から札幌市の姉

妹都市、ロシア・ノボ

シビルスク市で開かれ

る「スポーツ・芸術・

知性国際子ども大会」

に派遣される市内の中

学生の柔道選手6人が

12日、札幌市役所を訪

れ、上田文雄市長に意

気込みを語った。

ノボシビルスクの市

制施行120周年を記

念して7月5日まで開

かれる大会には、ロシ

ア国内外の都市から参

加がある。

柔道のみのお出場とな

る札幌からは、いづれ

も中学2年生の小林

拓睦君（篠路中）、長

谷川黎君（東海大四

中）、板東佳努君（琴

似中）、井上真由さん

（稲積中）、覚幸菜々

子さん（北白石中）、

岡菜里さん（月寒中）

が派遣される。

市役所では選手団を

代表して小林君が「ロ

シアの文化を学んで日

本に帰りたい」、岡さんが「札幌代表としての自覚と感謝を持って参加したい」と意気込みを語った。上田市長は「現地でいい刺激を受けてほしい」と激励した。（川上遼平）